



## ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう

ノロウイルスによる集団感染が全国的に発生しています。

県内においても、感染性胃腸炎の患者数が増加しています。

(山梨県の状況はこちら・・・<http://www.pref.yamanashi.jp/fukushi/kenkozsn/srv/index.htm>)

下痢、おう吐による脱水症状や、寝たきり者のおう吐物の誤飲など、生命に関わることもありますので、乳幼児、障害者、高齢者等の福祉施設では特に注意しましょう。

### 症状

- ・感染して12～48時間後におう吐、下痢、発熱、腹痛など。
- ・感染しても発症しない人がいますが、糞便中には大量のウイルスが排泄されているので注意。
- ・発症してから2～3日で回復します。

### 予防

- ・手洗いをこまめにしましょう。  
特に帰宅後、トイレの後、調理の前、食事の前には、流水と薬用石けんでいねいに洗いましょう。  
集団施設などでのタオルの共用は極力さげましょう。
- ・食材の加熱は十分しましょう。特にカキなどの2枚貝を食べる時は、85℃以上で1分間以上中心部までよく加熱しましょう。
- ・調理器具類(まな板、包丁、ボール、ふきん等)の洗浄、消毒をしっかりとしましょう。  
次亜塩素酸ナトリウム(ハイターなど)を0.02%溶液に5分間漬け込むか、同溶液をふきん等に浸して拭き、5分以上経過してから水道水で完全に洗い落とします。煮沸消毒する場合は、85℃以上で1分以上の加熱をします。

### 2次感染に注意

- ・吐物や便の処理に注意しましょう。  
床上のおう吐物や便などは、マスク、ゴム手袋、エプロンを着用してからペーパータオルで覆い、消毒液(0.1%)をかけて10分以上放置した後、新品のビニール袋の中に入れ、静かに密封して下さい。その後、床も消毒液で拭きましょう。
- ・トイレの便座やドアノブは、こまめに塩素系消毒剤で消毒しましょう。

### 日頃からの健康管理に注意

下痢等の症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。集団施設利用者やその職員は症状があった場合には回復するまで他の人との接触をなるべく避けるようにしましょう。

**手洗い・うがいを励行し、日常的に清潔を保ちましょう**

保健所では、出前指導等も行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

山梨県中北保健所 地域保健課 055-237-1403

衛生課 055-237-1382